

澄んだ瞳

第69号

令和2年12月号

発行

相生市教育委員会
相生市人権教育研究協議会

じんけんぶんか

人権文化をすすめよう！

じんけんしゅうかん

人権週間

12月4日から10日

「人権文化」とは

じんけんぶんか

にぎじょうせいかつ

なか

たが

じんけん

そんちよう

日常生活の中で、お互いの人権を尊重

すること、自然に感じたり、

かん

かんが

考えたり、

行動することが「当たり前」になった生活

あ

まえ

せいかつ

をしています。

「はつひわつとおかあさんく」

まいにち
おしごとや
ごはんをつ
くってぐわて
ありがとう。



「だいじょうぶ」

だるまさんがころんだをしていて、ないて
しまったともだちに、

「だいじょうぶ」

と、こえをかけているがいました。ぼくは、
それをみて、やさしいきもちになりました。
だからぼくもいいました。ぼくは、ともだ

わたしは、ねるまえにおかあさんがぎゅう
をしてくれてうれしいです。

おとうさん、いつもおしごとをしてくれて

ありがとう。

だいすきです。

(小学1年生)

ちだから、しらんふりはできませんでした。
すると、なきやんで、にっこりのかおにな
りました。ぼくもにっこりえがおになりました。
こえをかけてよかったです。もしこんど
こまっているがいたら、
「だいじょうぶ」
と、ぼくからこえをかけます。

(小学1年生)



「ありがとう」



きのうの日曜日、おふろからあがっておかあさんとおとうさんにお手紙をわたしました。

「ありがとう。」

と言ってもらえてうれしかったです。そのお手紙には、

「おしごとがんばってね。だいすき。」と書きました。それを、おとうさんとおかあさんにわたしました。

「うれしい。ありがとう。」

と言ってもらえてうれしかったです。

またおとうさんとおかあさんに、よろこんでもらえるお手紙をいっぱいわたしたいです。

(小学2年生)

「ソーラン節の練習」

今日は、三年生にソーラン節を教えました。

最初の練習は去年の私たちのようにとまどっていました。でも、私が教えた子は楽しそうにえがおでおどってくれました。そのえがおを見ると、「私もがんばらなくちゃ。」と心の中で思いました。

そして、最後までみんなで

どるとみんなの心が一つになったような気がしました。

(小学4年生)



「最後の運動会」

「パーン。」

信号器の音とともに運動会が始まりました。

これまでの練習の成果がはつきりできるか心配で朝からきんちようしていました。また、高学年として他の学年の子に声をかけ、たてわり班のみんなが笑顔で過ごせるようにすることもわたしの目標の一つでした。

六年生のリレーに向けて毎日、チームでバトンパスの練習をしました。みんなで声をかけ合い、失敗してもあきらめずアドバイス



をし合いました。本番では、見事にバトンタイムがでてうれしかったです。みんなの心が一つになったしゅん間でした。

この運動会で学んだことは、最後まであきらめないことやみんなで協力し合うことの大切さです。このことをこれからの学校生活に活かしていきたいです。私自身もたくさんの成長ができた運動会でした。

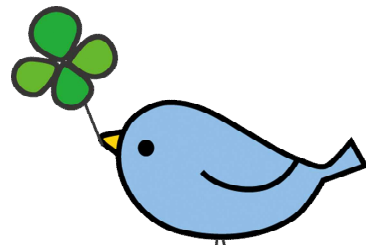
(小学6年生)

「『幸福と不幸の方程式』を学習して」

私は、幸せ者だと思いました。親もいて、家もある。ご飯が出て来る、洗濯をしてくれる、自分がしなくても誰かがやってくれる。

私はいままでの人生を不幸だと思っていたけど、あらためて考えてみると、幸せ者だと思いました。

私は、「南外吉さんの生涯」をよんで、いろんな事があってもくじけずに前を向い

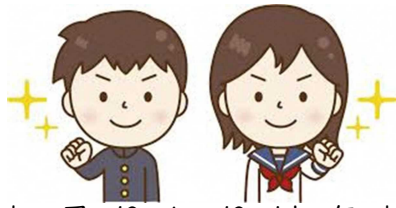


て、懸命にいろんな事に取り組んでいたら、きつと誰か見ている人がいると思います。そして、その誰かが手をさしのべてくれるから、良くないことがつついても、努力しつづけねばきつと良いことがあると思うから、がんばっていきたいです。

(中学2年生)

「『かっこいい』先輩に」

今月から、私は二年生になった。一年生と二年生は一年しかはなれていない。しかし、私は一年生と二年生は大きくちがうと思う。一年生の時には自分たちが「先輩」だったが、二年生になった今は、一年生にとって私たちが「先輩」となる。なので、一年生の時のように先輩方が一つ一つ丁寧に教えてくれることや、先生方が細かく指示を出してくれることも少なくなっていると思う。私たちは三年生を支え、一年生の見本となるような



存在にならなければいけない。そうなれるようにするためには、先生がおっしゃったように「気づき考え行動する」つまり、「真心」を大切にしなければならぬ。いつまでも一年生の気分でおらずに、「自分たちはもう二年生なんだ」と意識していきたい。卒業生の一人が「大きいことをしようとしなくていい。常識的なことや相手を使うことを一人一人が大切にすれば、よい学校になる。」と、最後の評議員会で私たちに言った。本当にその通りだと思う。あいさつや返事、ありがとうやごめんねと言う事は、大きな事ではなく、小さくて、とても簡単な事だ。それの一つ一つしっかりとしていけば、一年生の見本になれるような二年生になれると思う。一年生の時に先輩をカッコいいと思うていたのは、先輩方があいさつをしつかりしていたり、私たちが心配りしていたり、私たちが真剣に取り組む姿を見たからだ。私もそんな「かっこいい」先輩になれるように、自分を磨き続けていきたいと思う。

(中学2年生)

「SNSの正しい使い方」

SNSは便利であるけれど、個人の設定、使い方が次第で危険なものにもなるということを改めて感じることができました。

今、自分が楽しいという気持ちだけで投稿したりしているかもしれないけど、将来自分が就職するときにはそのたった一つの投稿で全てが崩れてしまうかもしれない。一時の感情や雰囲気・ノリにまどわされることなくいつとんでもなくても、常にその行動・言動などにより将来の自分が得る悪影響を考えて行動していきたいと思いました。SNSだけではなく、写真を撮るときなどの普段のスマホの使い方から見直して疑われること、違法なことがないよう正しい使い方をこころがけていきたいと思いました。正しい使い方でも誰かが不快な思いをしないSNSの環境ができればいいと思いました。

(高校2年生)



「人権教育講演会感想文」

きょう とうえんかい わたし いちばんいんしやう のこ
今日の講演会で、私が一番印象に残った
のは女子プロレスラーの話です。自殺をし
てしまって、誹謗中傷が大きなニュースに
なっている状況をみていたので、とても
興味深い話題でした。顔も知らない誰かの
言葉が人を死に追い込んでしまうのはとて
も恐ろしいことでした。「言葉は時に凶器に
もなる」という言葉があるように、自身が何
も考えず発した言葉が人を傷つける場合も
あるということを改めて考えさせられま
した。一人一人が違う考えを持っているの
で、自分の意見や価値観を他人に押しつける
のは本当にだめなことだと思います。最近
は、SNSを利用している人がほとんどな
のでそういったトラブ
ルも多いです。だから
こそ改めて考え直
し、相手の気持ちを考
えた正しい使い方
を利用していいと思
いました。

(高校2年生)



人権週間

人権週間



12月4日(金)～10日(木)

国際連合は、世界人権宣言の採択を
記念して、採択日の12月10日を「人権デー
(Human Rights Day)」と決めました。

「人権週間」を最終日とする1週間を
「人権週間」と定め、世界人権宣言の
意義を訴えるとともに、人権尊重思想の
普及高揚に努めています。

12月4日から10日までの1週間を、

週間

「人権ふれ愛コンサート」

内容

トークコンサート

「命の参観日」

出演者

玉城ちはるさん

音楽活動の傍ら、アジア地域の
留学生支援活動「ホストマザー」
を継続し、第5回「若者力
大賞」ユースリーダー賞を受賞。

ホストマザーの経験を活かし、
音楽を交えながらお話しします。

日時
会場

12月6日(日) 14時開演
相生市文化会館2ホール



※入場無料

※令和2年度人権ポスター
特選作品を会場入口に
展示します。